

令和2年度 長崎県立佐世保特別支援学校 学校評価アンケート集計結果

1 実施期間 令和2年12月4日(金)～ 12月18日(金)

2 回収率 保護者 85% (保護者数286 回収数242)
教職員 100% (対象教職員数161)

3 結果及び考察

(1) 保護者アンケート

【アンケート結果から】

- 「3 日々の学習や生活の様子を知らせる」は、昨年度から0.1ポイント上がり、3.7ポイントでした。
- 「8 家庭で取り組む課題を示す」は、前年度から0.2ポイント下がり、3.2ポイントでした。児童生徒の実情を考慮して対応しておりますが、個々に応じた課題の量や学習ペース等にも配慮しております。細かいご要望につきましては、担当の教員にご相談くださればと思います。また、将来を見据えてキャリア発達を考慮した将来の生活につながる課題設定についても、学校と家庭で共に考えていきたいと考えますので、ご協力をお願いします。
- 「9 子供の成長の変容の様子を的確にとらえた評価がなされている。」については、昨年度から0.3ポイント上がり3.6ポイントでした。
- 「14 学校は子供の健康状態についての情報を伝えてくれる」は、昨年度から0.2ポイントに上がり3.7ポイントとなりました。今後も直接の会話はもちろんのこと、連絡帳や学級だよりなどによる家庭との日常的な連携を今後も一層大切にしていきたいです。
- 「16 子供は楽しく学校生活を送っている」についてもは、3.7ポイントでした。児童生徒一人一人の障害特性を理解し、安全安心で楽しく学ぶことができる学校作りを今後もめざしていきます。
- 「17 部活動（高等部のみ回答）」は、昨年度から0.3ポイント上がり3.4ポイントでした。各部とも積極的に活動しておりますが、本年度は新型コロナウイルス感染症の影響で各種大会やイベントに出場・出演できませんでした。今後も希望者数や希望種目、指導体制、施設・設備などを考慮した上で、今後も高等部生徒の興味関心を大切にしていきたいです。
- 「19 施設設備」については、昨年度から0.1ポイント上がり、3.5ポイントでした。毎年、老朽化や破損による修繕をしており、今後も危険性があるものや緊急度の高いものについては、その都度教育委員会と協議して早期に対応し、学習環境の改善や既存施設の工夫を行っていきます。
- 「21 季節の花や環境美化」については、昨年度から0.2ポイント上がり3.4ポイントでした。児童生徒の興味関心にもよりますが、学習の一環として栽培活動を取り入れ、季節を感じたり、生き物を大切にしたりする気持ちを育てていくよう検討します。
- 「22 作品や壁面装飾が掲示されている」は、昨年度から0.1ポイント上がり3.8ポイントでした。児童生徒の日頃の学習活動の成果であり、展示により学習意欲を高めることにつながっています。また、各種作品展にも積極的に参加しており、子供たちの創造性を更に高めたいと考えています。

- 総合評価の「28 子供にとって望ましい学校である。」は、昨年度から0.2ポイント上がり、3.8ポイントでした。高く評価していただいております、今後も家庭や地域と連携して、児童生徒一人一人にとって望ましい学校づくりをしていきたいと考えます。
- 全28項目が3ポイント以上の評価であり、平均は昨年度から0.1ポイント上がり3.5ポイントでした。20項目（昨年度は11項目）で3.5ポイント以上の評価が得られ、全体的に高い評価となっております。
- 昨年度と比較して低評価だったものが、「23 授業参観・学級懇談等の内容、回数は適切である」、「24 PTA活動は活発である」、「25 近隣の学校や地域の人たちとの交流活動が十分に行われている。」でした。新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた評価ではありますが、このような状況の中でも出来る工夫を今後は図っていく必要があります、地域に開かれた学校を目指していきます。
また、「6 先生は障害についての専門性や指導の技術を身につけている。」で昨年度より0.2ポイントの高評価をいただいておりますが、職員の専門性や指導技術の向上については、外部講師による研修会や校内研修の充実を図るとともに、毎年、全職員が一人一研究授業を行い、教員の専門性向上に努めていきます。「26 情報発信」については、昨年度から0.2ポイント上がり、3.5ポイントでした。ホームページによる学校行事や学習活動の紹介をはじめ、進路先や関係施設等の情報を充実させており、情報発信数は増加しております。また、特色ある教育活動については、報道機関への情報提供もしておりますので、今後も本校の教育内容や教育活動の様子などの情報を広く発信していきます。

【自由記述から】

保護者アンケート自由記述においては、教員の専門性向上について、授業参観や行事等の設定について、教職員の資質や指導体制について、保護者との連携について、施設・設備や環境美化についてなど、多くのご意見をいただきました。アンケート結果と併せて、よりよい教育活動に向けて、以下のとおり検討及び改善を図っていきます。

- 施設・設備において、「施設が古く教室配置が分かりにくいので移転か立て直しをお願いしたい」という意見がありました。2部門6学部あり、とくにあたご部門は施設が古く感じることもありますが、現状では移転も含め立て直しは難しいため、児童生徒が安全に活動できるように、時間割により活動場所の調整をしております。指導内容や指導体制にも配慮していきます。
- 「一人の児童生徒に教師が付きっきりになっている」とのご意見がありました。児童生徒の安全のためにそのような状況になっているクラスもありますが、限られた職員数で児童生徒の安心安全のため情報の共有、部門全体での見守りなど、学校全体で保護者の皆様が不安になられないよう態勢を整えていきます。
- 職員の指導のあり方について、専門性の向上を求める意見がありました。指導にあたっては、今後も引き続き各種研修等をとおして職員の専門性の向上を図るとともに、ご家庭との連携を更に深め、児童生徒一人一人の障害特性に配慮した指導をしていきます。
- 「授業参観・学級懇談の回数が少ない」とのご意見をいただきましたが、コロナ禍での状況にはご理解をいただきました。このような状況下でも保護者の皆様にお子様の様子を発信できる環境やシステムとコロナ禍でも可能な範囲で適度な回数を設定し、お子様の学習の様子がわかるよう検討していきます。
- 「宿題を出してほしい」との意見がありました。児童生徒の実情に応じては、宿題を出していくよう検討していきます。また、お子様の状態やご家庭での対応状況により個別に担任が

相談させていただきます。

- 上記の他に、「コロナ禍でも校外学習を計画していただきありがとうございます」、「先生方に温かく接してもらっている」、「毎日楽しく登校できることに感謝している」などのご意見もたくさんいただきました。本当にありがとうございます。これからも家庭や地域、関係機関等ともしっかり連携して、子供たち一人一人に寄り添った丁寧な指導をしていきます。

(2) 教職員アンケート

- 全30項目の平均ポイントは、昨年度から0.1ポイント下がり、3.3ポイントでした。
- 昨年度と比較して21項目でポイントが下がりました。特に0.3ポイント下がった4項目については、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けたもので、コロナ禍でもできる授業参観や、交流及び共同学習、学校の情報発信を教職員全体で工夫していく必要を感じました。「14 保護者の相談に真摯に対応する」、「29 学校は地域の学校や保護者等からの相談に積極的に対応している」の昨年度よりポイントが上がった項目は、2項目でした。今後も、毎日の連絡帳や登下校時の確認、日頃からの相談など、保護者との連携を密にしていくとともに、地域の特別支援教育を推進するために今後も推進していきます。
- 「8 障害についての専門性や指導の技術を身に付けるための研修会への参加」は、3ポイント（昨年度は3.3ポイント）であった。校内研修等への参加と併せて校外での研修等がリモート研修になったり、参加がまだ少ない状況ではありますが、校内研修をより充実させるとともに、教育センター研修等へも積極的な参加を促していき、日々の指導実践につなげていきます。
- 大項目の「教育環境」の中で、「21 施設・設備が十分に整っている」は2.7ポイントであり、全項目の中で最も低い評価でした。児童生徒の特性や障害に配慮した指導をするにあたり、個別に学習したり、休憩したりする場所の確保や小中高で時間割を調整しながら特別教室を使用する際の不便さが背景にあると考えられます。今後の児童生徒増も考えられるので、児童生徒のより良い学びのために、今後も各部の時間割を考慮して、既存の施設・設備を調整・工夫しながら使用していく必要があると考えております。
- 「28 情報発信」については、学校ホームページを活用して、適宜、学校行事や学習活動を紹介しており、情報発信の件数は増えおります。一昨年度から、進路先や関係施設等の情報を充実させており、今後も報道機関への取材依頼も含め、計画的に本校の話題を発信していきます。
- 「29 学校は地域の学校や保護者等からの相談に積極的に対応している」では、昨年度から0.1ポイント上がり3.5ポイントでした。特別支援教育において、県北地区のセンター的役割を担っており、今後も特別支援教育コーディネーターを中心に、本校の専門性を大いに役立てていきます。
- 今年度は、全体的に評価が低い傾向にありました。また、部門によっても評価にばらつきがありました。原因を教職員で考察し、日々の教育活動に真摯に取り組んでいき、今後は、保護者はもちろん、教職員にとってもやりがいのある職場を目指し、一層充実させ、働き方改革を推進し、会議の回数や人数の精選、書き物を減らすなど、業務の分担・縮減を図り、職場のソフト・ハード両面の環境改善をはじめ、心身ともに健康で働きがいを感じるができるようにしていきます。